

令和3年度予算 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施事業 効果検証一覧

No	事業名	事業概要 (実施計画に記載した内容) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費の内容 ③積算根拠 ④事業の対象	実績額(円)				事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業実績	事業効果	担当課
			国庫対象 補助額	臨時交付金 充当額	起債額	その他					
1	発熱外来継続事業	①発熱外来を行うことにより感染症拡大防止を図る ②発熱外来施設賃貸料 12カ月(多久市立病院会計へ補助金として支出) ③76,065円×11月、76,285円×1月 計913,000円 ④市立病院	913,000	913,000		0	R3.4.1	R4.3.31	「プレハブ仮設診療室(発熱外来)」のレンタル ・診療室(プレハブ3棟) ・スロープ、空調機 ・仮設トイレ 総額:913,000円	令和2年度設置の発熱外来(プレハブ仮設診療室)を引き続き活用し、発熱者や感染の疑いがある患者を診療、医療従事者及び来院者への感染防止に寄与。	市立病院
2	トリアージ業務委託事業	①発熱外来のトリアージ業務を委託し、感染症拡大防止を図る。 ②発熱外来のトリアージ業務委託費(多久市立病院会計へ補助金として支出) ③1,630円×242日×8.5時間×1.1=3,688,201円 ④市立病院	3,688,188	3,688,000		188	R3.4.1	R4.3.31	「発熱外来受付等業務」委託 ・発熱外来診療室業務 ・発熱トリアージ業務 総額:3,688,188円	人員を常駐配置し、発熱外来診療室業務及び来院者の発熱、風邪症状、感染症状等のトリアージにより、院内感染防止に寄与。	市立病院
3	テレワーク環境導入整備事業	①業務継続及び感染拡大防止を図る ②テレワーク環境整備に伴う回線使用料、環境導入費及び備品購入費 ③通信運搬費 回線設置費23,980円、回線使用料16,720円×9月 端末用通信料59,499円×9月 計709,951円 委託料 サーバー一式6,367,983円、ライセンス一式3,465,000円、 保守サポート 16,500円×6月=99,000円 計9,931,983円 備品購入費 ノートパソコン191,750円×30台×1.1=6,327,750円 合計16,969,684円 ④市職員等	14,078,908	14,078,000		908	R4.1.31	R4.3.31	・テレワーク環境導入 ・テレワーク端末30台、モバイルルーター10台 導入 総額:14,078,908円	コロナ禍において、モバイルワーク、在宅ワークが可能となったことで、感染予防・拡大防止のみでなく業務効率の向上も実現した。	情報課
4	保育対策事業費補助金	(新型コロナウイルス感染症対策支援事業) ①保育所等における新型コロナウイルス感染拡大防止 ②感染拡大防止に係るかかりまし経費 ③500千円×7園、400千円×6園 合計5,900千円 ④市内保育所	5,888,000	2,943,000	2,944,000	1,000	R3.4.1	R5.2.28	感染症対策を徹底するため、感染症対策備品等購入費、人件費等のかかり増し経費に対して、市内13園に支援を行った。 補助額:5,888,000円	感染症対策備品等購入費、人件費等のかかり増し経費に対して補助することにより、保育施設において感染症対策の徹底が図られ、保育の継続的な実施に繋がった。	福祉課
5	多久市事業継続支援金(第3弾)	①感染拡大の影響を受けている事業者の事業継続を図る ②令和3年7月から10月のいずれかの月において前年又は前々年同期と比較して、売り上げが20%以上減少している事業者に対し80,000円の支援 ③80,000円×250事業者=20,000,000円 事務費300,000円 ④市内中小企業者、小規模事業者、個人事業者	18,430,603	18,430,000		603	R3.10.25	R4.3.31	令和3年7月から10月のいずれかの月において前年又は前々年同期と比較して、売り上げが20%以上減少している事業者に対し80,000円を補助した。 市内事業者:227事業者 補助額:18,160,000円 事務費:270,603円	特に建設業、卸・小売業からの申請が多く事業継続に繋がった。	商工観光課
6	多久市生活交通路線維持助成事業	①感染拡大の影響を受けている事業者への支援 ②コロナ禍以前の3か年の平均輸送人員と令和3年度の輸送人員の減少分に対し補助 ③多久・佐賀線 減少率 35.40% 1,298千円 唐津・佐賀線 減少率 19.60% 1,779千円 多久・武雄線 減少率 49.80% 4,565千円 合計7,642千円 ④交通事業者	7,073,000	7,073,000		0	R3.4.1	R4.3.31	市内を運行するバス事業者に対し、路線ごとに輸送人員の減少率に応じ補助を行った。 多久・佐賀線 1,474,000円 唐津・佐賀線 1,819,000円 多久・武雄線 3,780,000円 総額 7,073,000円	コロナ感染症の影響を受けている交通事業者に対し補助することにより、生活交通路線の維持確保に繋がった。	総合政策課
7	市内義務教育学校修学旅行取消料	①修学旅行の延期により感染拡大の防止を図る ②修学旅行の延期に伴うキャンセル料への支出 ③キャンセル料 1,091,000円 ④義務教育学校生徒	1,090,765	1,090,000		765	R3.5.6	R3.11.15	令和3年度中央校修学旅行(南九州3日間)取消料を支援した。 11,245円(一人分の旅行代金の30%)×97人分 総額:1,090,765円	修学旅行の延期により、感染拡大防止に繋がった。	学校教育課
8※	学校保健特別対策事業	(学校等における感染症対策等支援事業) ①感染症対策等を徹底することで児童生徒の学ぶ機会の確保 ②学校における感染症拡大防止対策に係る費用 ③市内義務教育学校3校 限度額6,300,000円 ④市内義務教育学校の児童生徒及び教職員	6,249,713	3,124,000	3,000,000	125,713	R4.4.1	R5.3.31	市内義務教育学校の感染対策に係る消耗品・備品の購入を行った。 中央校:2,657,183円 東部校:1,799,456円 西浜校:1,793,074円 総額:6,249,713円	感染対策用の消耗品・備品を購入し使用することで、児童生徒及び教職員の感染拡大防止に繋がった。	学校教育課
9	休日子ども診療体制支援事業	①休日夜間における診療体制の維持 ②休日夜間診療に係る経費の一部負担 ③負担金 1,327,000円 ④休日夜間診療所受診者	1,125,328	1,125,000		328	R3.4.1	R4.3.31	休日夜間子ども診療所に対し、負担金として支援した。 負担金額:1,125,328円	収益が減少していた休日夜間子ども診療所の運営安定化に寄与し、小児救急医療を維持することができた。	健康増進課
合計			58,537,505	6,067,000	52,341,000		129,505				

※学校保健特別対策事業は令和4年度への繰越事業です。